

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	外国語 2	
科目基礎情報							
開設学科	建築設計科		コース名			開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分	選択		時間数	30時間
単位数	2単位		授業形態	講義			
教科書/教材	毎回プリントを配布						
担当教員情報							
担当教員	和泉周子			実務経験の有無・職種	無		
学習目的							
グローバル化が当たり前の21世紀において、英語に親しみ理解を深めるため、外国語 1 で学習した英文法の基礎知識を、さらに発展させ、建築・インテリア関係の英文記事を通して、建築に関する専門用語やヴォキャブラリーを増やし、知識を修得することを、外国語 2 の学習目的とする。							
到達目標							
建築・インテリアを通して英語に親しむこと、実践的な演習問題に取り組むことで、時制や関係代名詞と関係副詞の使い分け、仮定法などを確実に身に付けることを、外国語 2 の到達目標とする（期末試験80点以上）。							
教育方法等							
授業概要	建築・インテリアの記事を用いて解説していく。テーマによってはさらにビデオも視聴し、より理解を深める。、より実践的な演習問題に取り組むことで、海外案件などに従事する際にも役立つ総合的な英語力を養成する。						
注意点	授業でプリントを配布するので、各自でファイリングしておくこと。予習・復習を必ず行い、辞書（電子辞書可）を引く習慣を付けること。出席は自己管理して出席不足にならないようにすること。授業時間数の4分の3以上出席しない者は単位を認定しない。日本工学院 授業心得（学生用）を守ること。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	80%	試験を総合的に評価する。				
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。				
授業計画（1 回～1 5 回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1 回	現在形			状態と習慣の 2 つの用法を理解する。			
2 回	現在進行形			未来を表す現在進行形を理解する。			
3 回	過去形			過去形の否定文・疑問文を理解する。			
4 回	過去進行形			過去形と過去進行形の用法の違いを理解する。			
5 回	現在完了形			過去形と現在完了形の使い分けを理解する。			
6 回	過去完了形			現在完了形との違いを理解する。			
7 回	未来形			Will と be going to の使い分けを理解する。			
8 回	否定文と疑問文			一般動詞と be 動詞の否定文・疑問文を理解する。			
9 回	間接疑問文			間接疑問文の作り方を理解する。			
1 0 回	比較級			形容詞・副詞+ e r、m o r e +形容詞・副詞を理解する。			
1 1 回	最上級			疑問詞を含む最上級の疑問文を理解する。			
1 2 回	能動態と受動態			能動態と受動態の使い分けを理解する。			
1 3 回	関係代名詞			関係代名詞の使い分けを理解する。			
1 4 回	関係副詞			関係代名詞との使い分けを理解する。			
1 5 回	仮定法と仮定法過去			助動詞の過去形を理解する。			